

⚠️ ご注意

下記に該当される方は検査を受けることができないうちがござい相談ください。

胃部エックス線検査

- 1 妊娠又は妊娠の可能性がある方
▶ 授乳中は可能ですが、検査後に服薬する薬剤の成分で、乳児が下痢を起す場合があります。
- 2 過去にバリウムによるアレルギーを起したことがある方
▶ しんましん、気分が悪い、顔色が青白くなる、手足が冷たくなる、喉がつかまる、息苦しいなど
- 3 過去に食べ物で重篤なアレルギーを起したことがある方
▶ まれに、バリウムの添加物にアレルギーを起す場合があります。
- 4 腸閉そくや腸ねん転、大腸憩室炎などの既往がある方
▶ バリウムにより腸管穿孔の原因になることがあります。
- 5 3か月以内に大腸ポリープの内視鏡治療をした方
▶ バリウムや下剤の刺激により、治療した箇所から出血する場合があります。
- 6 1年以内に胃、大腸(痔を含む)の手術をした方
▶ 手術した病院での検査をお勧めします。
- 7 人工肛門の方
▶ 下剤服用後は便の様子が変わるため、皮膚の炎症を起す可能性があります。
- 8 腎臓病・心臓病などで水分制限を受けている方
▶ 多めの水分摂取が必要になります。
- 9 常時、酸素吸入をしている方
▶ 酸素吸入器を外す必要がありますので、息がつかなくなりません。
※ 持病のある方は、事前に主治医とご相談の上、受診してください。
- 10 疾患の種類に関わらず、入院中の方

胃内視鏡検査

- 1 妊娠中の方
- 2 消化管に重篤な炎症や穿孔等の疾患が見られる方
- 3 疾患の種類に関わらず、入院中の方
- 4 消化性潰瘍などの胃疾患受療中の方
ピロリ除菌中の方を含む。
- 5 胃全摘術後の方
- 6 咽頭、呼吸器に重篤な炎症や疾患が見られる方
- 7 新しい心筋梗塞や重篤な不整脈が見られる方
- 8 明らかな出血傾向又はその疑いがある方
- 9 収縮期血圧が極めて高い方
高血圧治療中の場合、検査直前の血圧測定にて受検の可否を判断します。

【開券症について】.....この検査で発生することがあります。

内視鏡検査では、ごくまれに開券症が発生することがあります。

この検査で考えられることは

- 1 のどの麻酔薬によるアレルギー・ショック
- 2 内視鏡操作による粘膜炎、出血、穿孔(穴があくこと)
- 3 検査前からあった疾患の悪化(症状が出ていない疾患も含む)が主なもの。

偶発症が発生する頻度は、胃内視鏡検査では10万件に213件と全国調査により報告されています。この中には、鼻出血などの軽微なものから入院例まで含まれています。現在、胃内視鏡検査による死亡事故は報告されていませんが、ごくまれに死亡の可能性もあります。



【 検査の流れ 】



検査実施機関で指示された時間以降、飲食は禁止です。

- 早めの就寝を心がけましょう。
- 少量の水は、飲んでかまいません。

食事、たばこ等は禁止です。

- お腹をさつくめくつけるようなもの(ボディソープなどの着用は控えていただきます、なるべくゆったりとした服装で行きましょう。
- お薬を服用されている場合は、医師の指示に従ってください。



胃内視鏡

1 問診

現在の症状、既往歴、過去の検査受診状況等をお聞かせします。

2 撮影

- 1 発泡剤を飲みます。
- 2 のどにゼリー状やスプレー式の麻酔薬を麻酔します。
- 3 検査台の上を左側に下にして横になります。
- 4 内視鏡が挿入され、撮影が始まります。

※ 必要に応じて

- 色紫液を取布することがあります。後で便や尿に色がついたり、胸やけが残ることがあります。

- 病変を認めた場合には生検を行います。検査後、当日の食事は軟らかい消化のよい食事を摂取し、過激な運動、長湯、旅行などは避けてください。

肩・首・のどの力を抜いて、唾液は飲み込みます。口から外に出していただき、ゲップはなるべく我慢してください。

3 終了後

- 胃内視鏡検査後は、1時間程度は水分や食事を摂取しないでください。(検査実施機関の指示に従ってください。)

- 必ず保険証をお持ちください。

検査中必要に応じて、診断を確定するために検査の一部を採取(生検)したり、ピロリ菌検査を行うことがあります。

いずれの検査も保険診療扱いになり別途自己負担金が発生します。



胃部エックス線

1 問診

現在の症状、既往歴、過去の検査受診状況等をお聞かせします。

2 撮影

- 1 発泡剤を飲みます。
- 2 バリウム125～150mlを飲みます。
- 3 検査台に移乗し、撮影します。
- 4 検査台の上を左側に下にして横になります。

おなかの張りゲップが出そうになります。ゲップは我慢してください。

3 終了後

- 必要時、下剤を服用します。
※ 検査実施機関によってバリウムに下剤を含んでいる場合もありますので、確認してください。

- 水分をしっかりと摂るようにしてください。



必ず検査実施機関で結果説明を受けてください。

最終結果は、後日読影医によるダブルチェックを行うため、検査から数週間後にできます。医師より説明を受けてください。

結果説明

受診前の注意事項

- 1 検査方法や流れは検査実施機関によって異なります。医師の指示にしたがって受診してください。
- 2 検査前の飲食や身体の状態により、検査を中止したり、検査が受けられない場合があります。
- 3 胃内視鏡検査で、病変が発見された場合、詳しい検査が必要となる場合があります。この場合、検査は保険診療となり、別途自己負担金が必要となります。
- 4 胃がん検査の結果は統計資料や健康づくり事業に活用させていただきます。また、必要に応じて受診者に連絡させていただきます。